

THE~KOBECOCO

9



SEPTEMBER 1974 NO.161

神戸っ子

神戸っ子 昭和40年1月20日第三種郵便物認可
昭和49年9月1日印刷 通巻161号
昭和49年9月1日発行 毎月1回1日発行

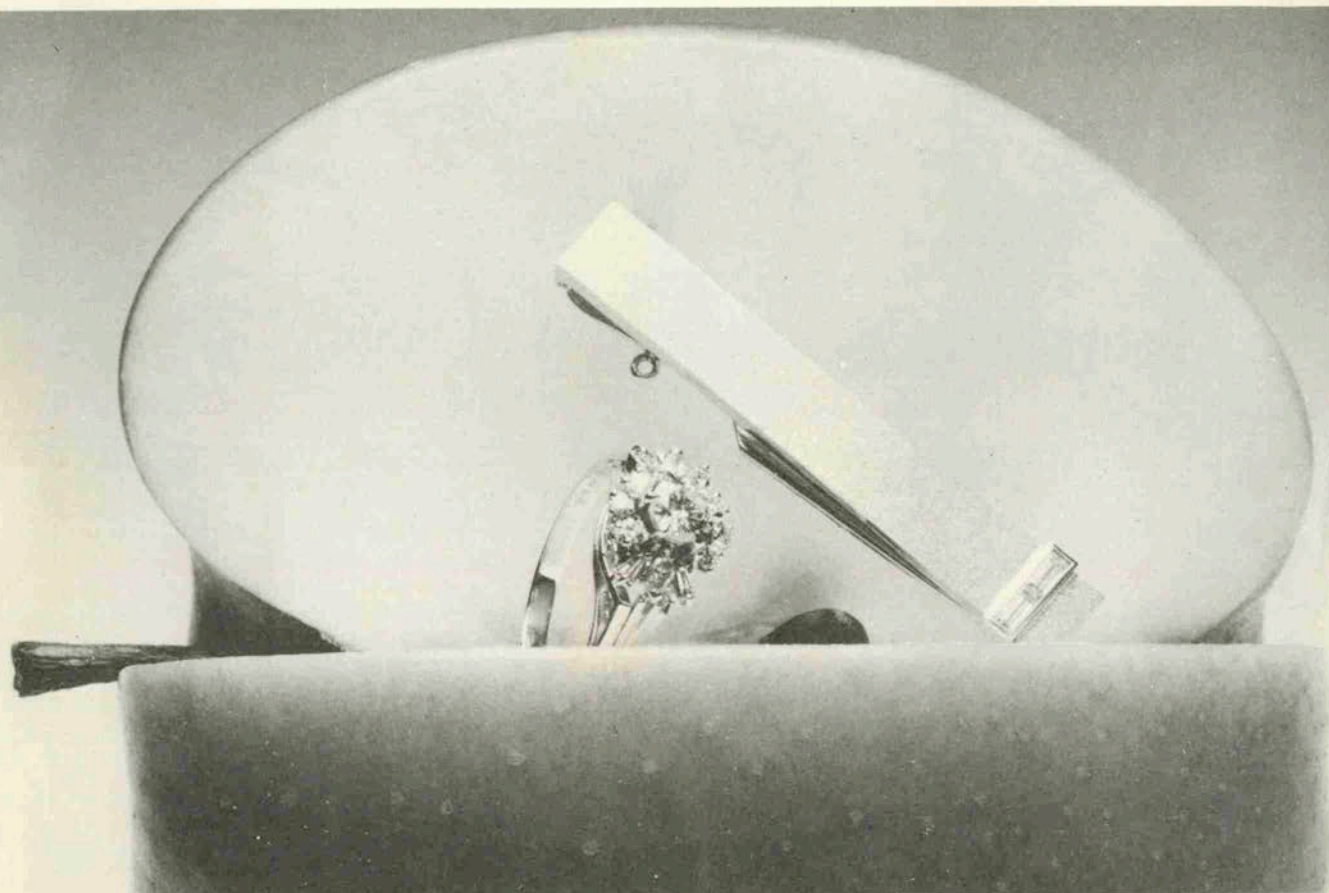


秋。美しくさわやかに —



婦人服飾
神 戸 **ベニヤ**

| | | |
|------------|--------------|------------|
| 神戸 | 三宮センター街 | 391-5528・9 |
| | さんちかレディスタウン | 391-1204 |
| 大阪 | 梅田阪急三番街 | 372-8093 |
| | 上本町近鉄百貨店 2 F | 779-1231 |
| | ミナミ地下センター | 213-6128 |
| 東京 | 日本橋東急百貨店 1 F | 211-0511 |
| モデル/堀越美智子 | | |
| Photo/藤原保之 | | |



ミキモトは、キューピット。

ダイヤモンドが、愛の矢になって、二人の明日を实らせるのです。

—世界の宝石店—

MIKIMOTO

神戸—三ノ宮—神戸国際会館

TEL 221-0062

大阪支店—堂島—新大ビル TEL 341-0247

京都支店—河原町—蛸薬師—BAL 4階 TEL 241-2970

●大阪—高島屋・阪急・阪神・松坂屋

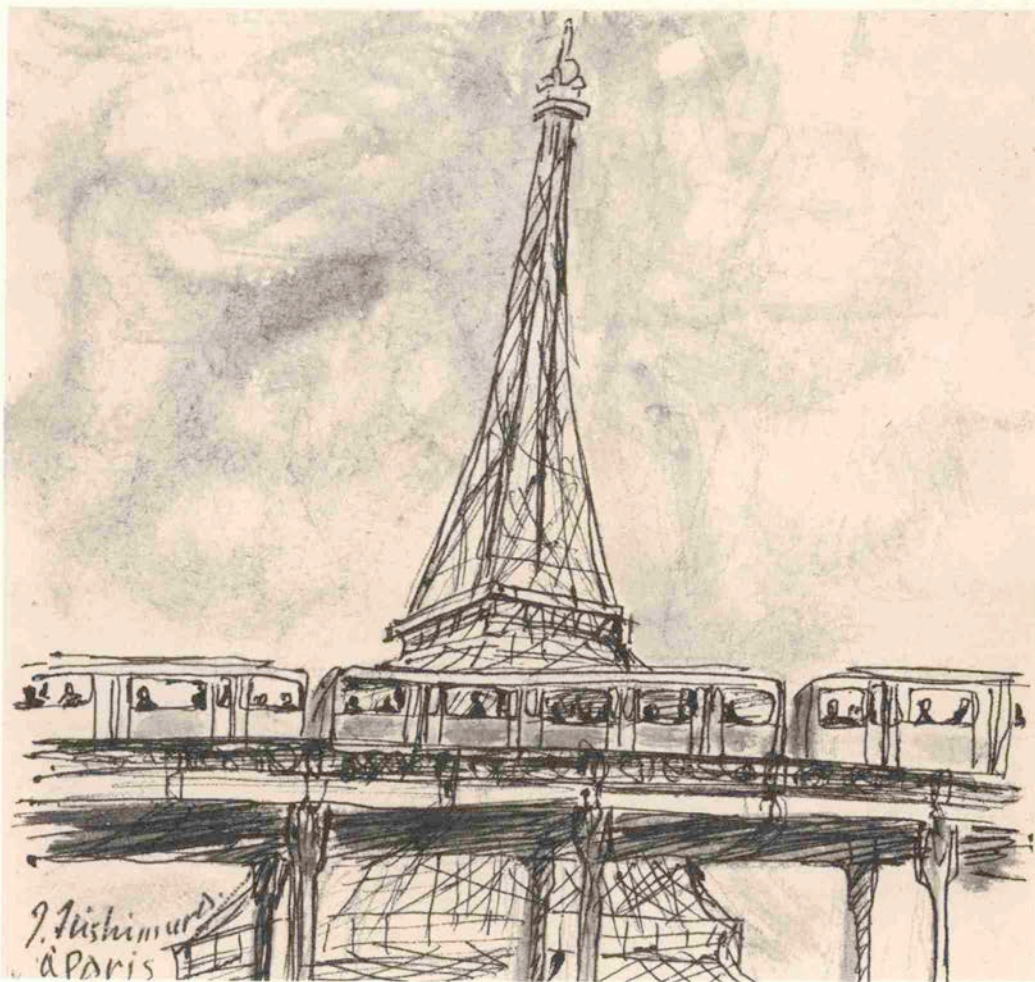
近鉄上六店・近鉄アベノ店・大阪国際空港

本店—東京—銀座4丁目

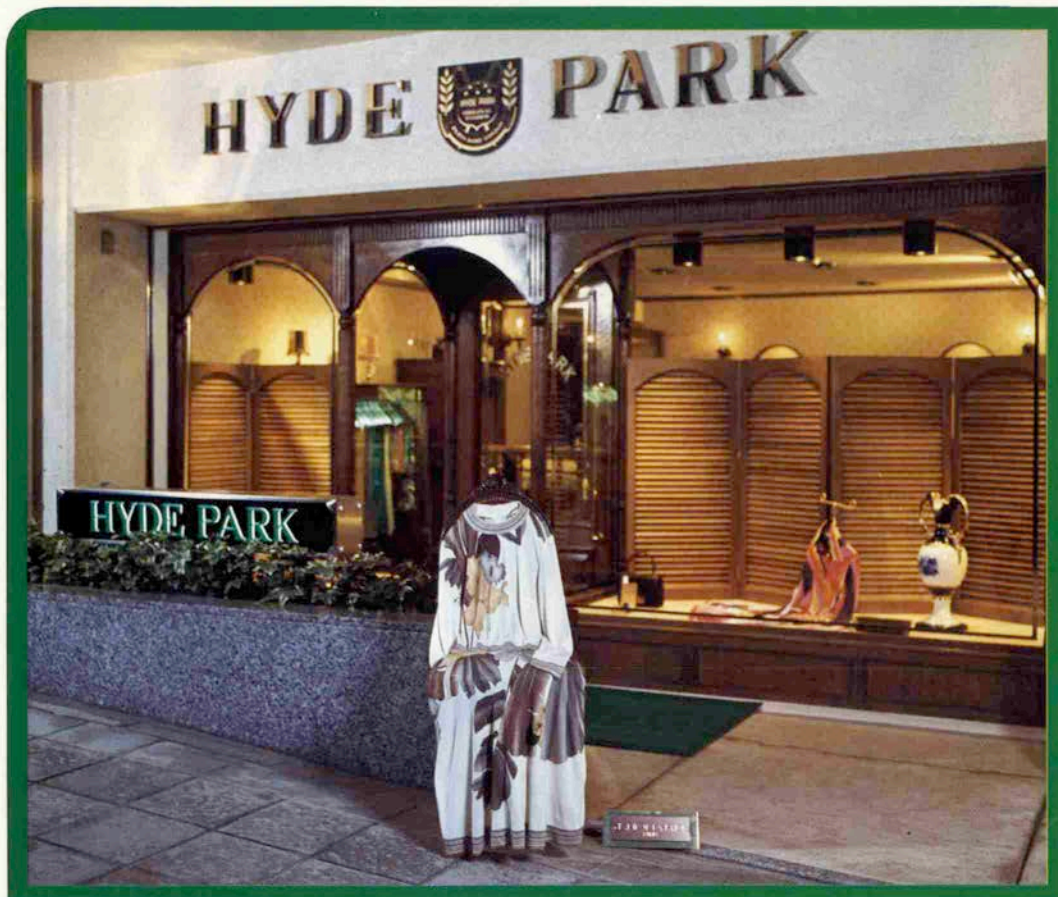
旅のスケッチ<9>

ビルアケム橋の上をメトロが走っているところ／絵・文西村 功

エッフェル塔をバックにメトロの赤とグリーンが映えて美しい



初秋の北野町の坂道を
優雅に彩る《ハイドパーク》の新しい装い



■ PARIS COLLECTION
Elégance
LEONARD
JEAN PATOU

ORIGINAL FASHION

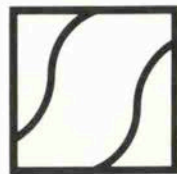
HYDE PARK

1-35 YAMAMOTO-DORI
IKUTA-KU KOBE
Tel. 221-6077



美しい感覚と最高の品を希む淑女のためにセリザワがお届けする
 おとなのファッションいまあなたにエレンガンスな輝き……

la boutique charmante
 セリザワ



serizawa

本店＝神戸市生田区三宮町3-18

妖精のような女の子

手塚博子

〈学名〉カメラ・米田定蔵

神戸から東京へ行く気軽さで国外へとび出して行く。そんな若者が増えてきた。手塚博子さん(二十歳)もそのひとりだ。何冊かの本を片手にひよいとアメリカへとんで行き、休暇になれば、また、ひよいと日本へ戻ってくる。そんな感じがする。甲南高校在学中に留学生としてニューヨークへ渡ったのがきっかけで、現在、ロスのオキシデンタル大学に在学中。数学が得意でコンピューターの勉強のかたわら、スペイン語、フランス語の習得にも意欲を燃やしている。おまけにアルバイトで日本語を教えている。入学以来ズツと寮生活をしているが、それが楽しくて仕方がない。遊びは遊び、勉強は勉強。毎日の生活の楽しさと勉強の厳しさは表裏一体のものだ。アメリカの学生は早くから自分の将来を決定する。愚図愚図してはいられない。将来——。まあ、慌てることはない。ゴーイングマイウエイで行くしかない。九月にはまたアメリカへ戻る。世界各国の同世代の友人は多いのだが、日本人が少ない。それがチョッピリ悩みの種なのだ。須磨区在住。

〈自宅にて〉



神戸ダイヤモンドギャラリー <16>

夕暮れ時の古い家・納 健

長い冬の訪れを待つ
日射しを背に受けながら
赤く染まった



宝石各種

トアロード



神戸ダイヤモンド
KOBÉ DIAMOND

TEL. 078 (331) 0690・2397

神戸っ子'74

魂を揺さぶるような踊りを

藤間緑寿郎

（邦舞家）カメラ・米田定蔵

天正八年播州三木城は二年にわたる籠城戦で、城内は餓死者が相次ぎ、地獄の様相をいや増していった。大将長治は二三歳。一族の自害を代償について羽柴秀吉に降伏を申し入れ、ここに別所氏は滅亡した。陰惨をきわめた籠城戦として戦史にも名高い三木合戦。三木生まれの藤間緑寿郎さん、九月一日のはじめてのリサイタルでは、悲劇の

大将長治、夫人、家臣、領民、そして時を経て城跡に佇む旅僧、これだけの役を衣裳を替えず素踊りで演じる。

「古典はもちろん大切なものだが、僕にとって踊りの魅力は、素踊り。これからも素踊り形式を極めていきたい。今度のリサイタルはその手始めです」。六歳で藤間緑寿師の内弟子に入る。十二歳母が逝去、両親とも失った時には

「僕は生涯日本舞踊をやっていこう」とすでに心に決めていたという。たとえば、春、つくしが芽を吹いているのを見て、春だなあ、と感じる。そんな「日本的なもの」が好きで、それを踊りに表現、伝えていきたいという。





神戸景 百

49

カメラ
小山 保

神戸夜景

白川 渥

〈作家〉

わが家は少し高台にあるので、神戸の夜景はさして珍しくない。が、かれこれ二十年前、仕事のためにしばらく六甲山上のホテルに滞在した時、そこから眺めた眼下の街の灯に、はじめて「百万ドル」の真価を知った。季節は九月にはいつて間もなく。時刻は午前三時過ぎ。執筆に倦んじた眼をふと晩闇の窓外にやっ
て、私は唸った。見なれた夜景ではなかった。季節のせい、時刻のせい、清澄な大気の中で、眼下のダイヤの大群が一粒一粒まるで生き物のように烈しく蠢めき合っていたのである。「百万ドルの夜景」と言った安手の形容は、あまり好きではない。が、この夜ばかりは掛値のない景観であった。



ロツクガーデン

山本吉之助

〈兵庫県山岳連盟副会長〉

戸景 神百

50

芦屋の街から僅かに三十分のアプローチで高山へ来たような岩場が展開する。

ロツクガーデンは標高こそ低いが、日本の近代アルピニズム発祥の一点であり、アルプス、ヒマラヤに通じているともいえる。

日本のロツククライミングは藤木九三翁等によってここに芽生え、たゆまぬ発達をとげた。

かつてアルプスやヒマラヤに登った人々の大半はここを訪れているし、今もヒマラヤへの望みを抱く若者はこの岩場に汗してハーケンを打ち、ザイルをさばき、三点支持の確保を身につけ、大きな夢を育てている。



須磨浦公園

松井政和

（ラジオ関西取締役編成局長）

神戸の街で、ここ須磨浦はど海と山とが近々と迫りあつて見事な融合をみせている所はない。

春爛漫の桜吹雪の日、なだらかな傾斜に恵まれたこの公園をそぞろ歩く時、哀れ首を打たれた平家の公達敦盛の碑をみつめて、誰もがしばし足を停め遠い歴史への瞑想にふける。險のうらに絢爛たる合戦絵巻がくりひろげられ、開けばキラキラと眩しい陽光をあびて瀬戸の内海が目前にひろがり、淡路、家島が遠望できる。心に自然の静謐を求めるならば、春はもちろんとりわけ冬ざれの須磨浦を歩きたい。

そういえば山の中腹に芭蕉の次の句碑もあった筈だが、かたつむり 角ふりわけよ 須磨明石

戸景
神百



平野の祇園

花柳芳恵一子

（邦舞家）

戸景 神百

52

祇園さん
背中を負ぶ
さつて連れ
られた頃から

毎年かかさずお参りする
平野の祇園さん、ここ暫く
ごぶさた。妙である。よほ
ど忙しかったのかな。

打ち上げる花火に見とれ
上を見上げるとゾッとする
石段、人波に引きずられて
のほり切り巫子さんの舞、
ご参拝もほどほどにあちこ
ちの店をひやかし、ぶらり
ぶらりトウモロコシを片手
にゆかたの袖をたくし上げ
しゃがみこんでの金魚すく
いに喜々となり、となりに
陣どった子供達といっしょ
に夢中で、ハツカパイア甘
酒みたらし団子射的…お祭
りもまた楽し。夜店のさわ
めきどこかで売る風鈴の音
色、昔も今もかわらぬ情景
に安堵を覚え即、童心に帰
れる祇園さんがいつまでも
夏の風物詩であってほしい。

トア・ロード 福富芳美

〈神戸ドレスメーカー女子学院院长〉

居留地が出来たとき、そこに来た外国人たちは北野の山裾にすまいを作った。現在の外人クラブのある場所には独逸系の基督教信者たちの下宿屋があり、その傍にお稲荷さんが祀ってあった。下宿屋がホテルに転身したときに鳥居、すなわちTOR（独逸語の門という意）なのでトア・ホテルと名付けられ、居留地をつなぐ路がトア・ロードとなったと聞いている。

山から海へ真すぐに広い坂道に、いつのまにか各国の商人たちが住みついて、エキゾチックなファッションアベニューに育った。

しかしこれは戦前の話。今は昔の雰囲気もうすれて少し淋しいけれど、日本人のトア・ロードとして新しい街づくりが出来、それはそれで神戸センス豊かなすばらしいファッションの街である。

戸景 神百

53





神戸景 神百

54

神戸市役所

鳥田家弘

（神戸大学工学部教授）

完成した時の市庁舎は、海の色をして明るく清潔だった。そのまま市政の明るさをおもわせ、必要かつ十分な数学の証明に似て何の気張りもない、後の高度成長期に出たブソイドモニュメンタルな水ぶくれデザインがないのが良かった。

いま、そのガラスブロックや壁面は、かつてのバリほど黒くはないが大分よごれている。青い海を取り戻すように洗ってほしい。一層明るい神戸市政の象徴となるように。

世界の一流品を集めたトアロード<クロス>



クロスが広くなりました。2階がぐっと充実。ゆったりと品選びができるサロンで、スペイン家具など世界の一流品を揃えています。新しいクロスの部屋へぜひお越しください。

靴と舶来雑貨

クロス

神戸トアロード TEL 391-1781(代)

神戸生田筋 TEL 331-5983

さんちカレディタウン TEL 391-2562



ある集い★兵庫県彫刻家連盟



昨年七、八、九月甲山森林公園で石彫シンポジウムが行われた。炎天下、一m角長さ二mにも及ぶ原石への彫琢。彫刻のある町づくりを進める県の構想があり郷土の美と文化に協力したいと願う彫刻家がいて、今、公園には、兵庫県彫刻家連盟のメンバー十四人によって完成された作品が自然の中に確かな位置を占めている。「深い緑を背景にくっきりと陰影を刻んで立つ白亜の彫刻は無限の空間に対峙して事物の実存を意義づける。それは彫刻の本質と共に理想でもある」という新谷秀夫代表の言葉は味わい深い。文化ホール周辺の煉瓦道、東遊園地内の彫刻群など、アトリエから出た製作活動が町の角かどで人々の目に飛び込んでくる。

その行動的な姿勢と成果に対し、神戸市「人間環境都市宣言記念文化功労賞」（48年7月）、兵庫県「半どんの会文化賞団体表彰」（48年12月）、神戸新聞「神戸新聞文化奨励賞」（49年5月）と相ついで賞が送られた。社会的期待も大きい。完成近い中国縦貫道路の沿線の播磨内陸中央公園においても、シンポジウムの展開が予定されている。

（写真上・三賞受賞祝賀会）

下・甲山森林公園石彫シンポジウム
36ページもご覧ください



この秋 ファッションな 格調ある〈コベック〉へ

服飾のロビー
Covéc

湊川公園 パークタウン2F TEL 521-1789

女の服飾 **クロタ**

湊川パークタウン1F TEL 511-4067

■'74秋・冬コベックヨーロピアンコレクションショー/9月初旬 於コベック

コウベスナップ

夜空を彩る大輪の花々

今年もまた海の記念日がやってきた。

第三十五回目を迎えて色々な催し物が行われたが圧巻は花火大会。

「みなとこうべ海上花火大会」(神戸市海事広報協会ほかの主催)も今年で第五回目に当たり、八月四日の午後八時から、神戸港第四突堤ポートターミナル東の海上より、打ち上げ花火七百発、仕掛け花火五基が点火された。

この日、ポートターミナル、ポートアイランド、神戸大橋には約三万人が詰めかけ、頭上に花ひらく光と音の饗宴にしばし暑さを忘れ見とれていた。





壺と蝶
(F 20)